

事例

地域の特徴を活かした食育の取組

「牛さん、ありがとう」感謝の気持ちと食べ物を大切にする気持ちを育む活動

かみいたちょう たかし
上板町立高志幼稚園（徳島県）

幼稚園における食育は、食べる喜びや楽しさを味わい、様々な活動を通して食べ物への興味や関心をもったりするなどし、食の大切さに気づき、自ら進んで食べようとする気持ちが育つようにすることが大切です。

本園は、徳島県の北東部に位置する上板町にありすぐ横には吉野川が流れ豊かな自然に恵まれています。農業・畜産業など一次産業が盛んな地域で、幼稚園や小学校とのつながりも深く、幼児の生活や遊びにも大きく関わりがあり、地域の特性を活かした活動が多く行われています。

その一つの活動が牛舎見学です。校区内にある牛舎へ歩いて見学に行き、餌やりや乳搾りを体験しています。令和元（2019）年度には赤ちゃん牛が生まれ、幼児に名前を付けさせてくれました。幼児は、牛の特徴をよく見ながら多くの名前を考え、その中から牛の名前は「イーストウッド ピンクロ ミル モモ サリー」（以下「サリーちゃん」という。）に決めました。

令和4（2022）年度の見学では、卒園した幼児が「サリーちゃん」と命名した話をする、「幼稚園に写真がある牛やなあ。」「サリーちゃん、かわいい。」などとサリーちゃんに話しかけながら、餌やりをしました。酪農家の方から、「お母さん牛が赤ちゃん牛のために出している乳を、みんなは牛乳として飲んでいいる。」「牛から出た乳は工場に運ばれ、牛乳となって、みんなの給食として出されている。」と教えてもらったり、「牛乳や野菜を残さず食べてほしい。」という願いを聞いたりしました。幼児は「ありがとう。また、来るね。」と牛に感謝をしながら、牛をなでて園に帰ってきました。帰園後、「さっきの牛さんの牛乳かなあ。」と言いながら給食の牛乳を残さずに飲めるようになった幼児や、毎日飲んでいいる牛乳と身近にいる牛が結び付いたことで「いつもよりおいしい。」と話す幼児もいました。

これらの活動を通して、幼児に「食べ物への感謝の気持ち」や「食べ物を大切にする気持ち」が育まれたと同時に、地域と園の結びつきがより深くなったように感じられました。今後も地域の特性を生かした活動を通して、幼児の食べ物への感謝の気持ちや、食べ物を大切にする気持ちが育まれるよう、取り組んでいきたいと思ひます。



サリーちゃんへの餌やり



乳搾りを体験している様子

第2章

学校、保育所等における食育の推進